

# 楽しい体育授業を全校、 全市へと広げる取り組み

大分県臼杵市立市浜小学校

全校児童数	426名(男子240名 女子186名)		
全クラス数	17	教職員数	32名
体育専科教員訪問学校数			4校
訪問校	臼杵市立 臼杵小学校・野津小学校 海辺小学校・下北小学校		
体育専科教員名			上山 智之

## Plan：取組時の課題と計画

### 1 取組時の課題

#### ◆体育授業の充実

本校の児童は、「運動が好き」と答える児童は多いが、「体育の授業が好き」と答える児童は少ない。合同体育を行うことも多く、待機時間が多かったり、用具・設備が整っていなかったり、運動する機会が絶対的に少ないことが一因と考えられる。

#### ◆運動の大切さの理解

健康に生活するために必要なこととして、「食事」「睡眠(休養)」は思いつくが「適切な運動」という答えは少ない。児童のみならず保護者の意識も低く運動の大切さについて理解してもらうことが必要である。

#### ◆正しいスポーツテストの実施方法の周知徹底

学校によっては、学年・学級で体力測定を行っており、正しい測定方法が周知されていない現状がある。

### 2 取組の計画

#### ① 「楽しい」体育授業の工夫・改善

体育授業の改善を図るため、体育授業での課題解決学習の流れ(方法)を、授業公開等を通して職員に紹介し、普段の授業でも課題とまとめを意識した授業構成の実践を図る。また、運動機会を増やすために体育の環境整備を進める。

#### ② 子どもの体力の情報発信

体力向上会議において、各校の体育主任対象に正しい測定方法を説明する。また、「全力前進!〇〇っ子新聞」を発行し、体育的行事の紹介や子どもの体力に関する情報を家庭・地域に発信する。

## Do：実践内容

### 1 体育授業改善(児童の運動量増加をめざして)

#### (1) 時間割の調整

年度当初、特別教室時間割表の作成時に、体育(体育館)の割り当てを昨年度の学年(2~4 学級)単位から学級単位で編成し、単学級での体育の授業を推進した。

#### (2) 「授業の流れ」の提示

「体育授業の流れ」を体育館等に掲示し、体育の授業での課題解決的な学習に仕組み、課題とまとめを意識した体育学習に取り組んだ。

#### (3) 体育備品・環境の設備

体育備品の確認を行い、体育倉庫を準備し整理整頓を行った。また、担任が使用しやすいよう補助具の作成や備品の作成・購入など環境整備を行った。

#### (4) 体育的行事と運動した体力向上

学期ごとに「リレー大会」「運動会」「縄跳び大会」を体育三大大会と位置づけ、それぞれの本番に向けて、休み時間などに自由に練習できる場・用具(リレーバト

ン、ジャンピングボードなど)を準備し、日常的な体力向上を行った。

### 2 体力向上の情報発信

#### (1) 臼杵市体力向上会議

年間4回の臼杵市体力向上会議を行い、各校体育主任参加のもと、第1回に臼杵市の体力にかかわる課題の共有と「体力テストの正しい測定方法」や、測定前の体操・ストレッチ等の実技講習を行った。また、本校において授業公開を行い、体育での課題解決学習モデルの紹介を行った。

#### (2) 「全力前進!市浜っ子新聞」

家庭でも体力に関心を持ってもらうために体力(体育)新聞を発行した。現在の子どもの体力の傾向や体力テストの実施に向けて家庭でできる体力アップの方法などを紹介した。

### ●工夫したこと(&苦勞した点)

- ① 合同体育を学級体育へと移行させていくことに際して、各学年・担任の先生方に理解と協力をしてもらった。また、体育備品については、予算の少ない中、材料費のみで手作りしたり、高価なものは年度をまたいで購入計画を立てたりした。
- ② 体力向上推進校から市内各校へ体力向上を広める手立てとして、体力にかかわる新聞を発行し、内容を市内どの学校でも活用できるようなものにし、表題を「全力前進!〇〇っ子新聞」として各校名を入れて各家庭に配布できるように工夫した。

## Check：取組の成果

- ① 体育授業を単学級中心に行うこと、体育備品を増やすことで待機時間も減り、力いっぱい運動することができるところから運動への愛好度も高くなってきた。
- ② 正しい測定方法の実技講習から各校でも研修等で周知してもらい、臼杵市全体の体力テストの結果が大幅に上昇し、D・E層の児童も減少してきた。

## Action：今後の課題

訪問校によっては、用具など揃っていないところもあり、勤務校から持っていくことも多かった。市内で備品等の貸し借りなどがスムーズに行えるようなシステムづくりや、本務校・訪問校だけではなく取り組みを全体に広める取り組みを進めていく必要がある。

### ◎体力向上の取組がもたらす波及効果

得意な子だけが活躍するのではなく、みんなが活躍できる・認められる雰囲気を学級体育の中で進めていくことにより、学級経営・その他の活動の中でも友だち・仲間づくりとして役に立っている。

○時間割の調整

2017 体育 時間割					2017.4.16
	月	火	水	木	金
1	2-1 5-1	3年	4-1 1-1	2年	6-2 3-2
2	3-2 5-2	6-1 2-2	4-2 1-2	2-3 6-2	2-3 4-1
3	3-1 1-1	1-3 1-4	5-1 1-3	5-2 1-2	3-1 1-4
4	4-1 1-2	2-1 6-2	3-1 1-4	1-1 6-1	4-2 1-3
5	4-2 2-2	2-3 5-2	3-2 6-1	2-1 2-2	5-1
6		5年		4年	6年

\*赤字が体育館の優先学年。それ以外は割り当て学年と連絡調整する。

○「授業の流れ」の提示



○体育備品・環境の整備

